

## 保育の質を考える —保育者の専門性の観点から

企画者：鶴沢由美子（明星大学）、田口久美子（和洋女子大学）、太田由加里（日本大学）  
話題提供者：同上

### 企画趣旨(目的)

保育の質は、安定的な社会の基盤形成に資するものである。社会を支えていく子どもたちの健やかな発達を、その成長の初期段階で担保することは重要である。また、性別役割規範の残る日本社会において、特に働く母親が安心して働けるための基盤ともなりうる。しかし、日本におけるこの保育の質に関する議論に、保育者論は含まれていないと垣内は指摘する（垣内 2011:26）。本ラウンドテーブルでは、保育者の専門性から保育の質を検討する。また、保育者は保育園だけでなく、児童福祉施設においても子どもの成長発達を育み、保護者支援を行う重要な役割も担っている。本ラウンドテーブルでは、保育園における保育、あるいは保育者に限定せず、幅広く児童福祉施設にも対象を拡げ、そこで主軸となっている保育者の専門性及び保育の質を議論、検討する。

垣内国光編著 2011『保育に生きる人びと』ひとなる書房

### 話題提供

主として以下の3点からお話しし、議論の話題を提供していきたい。

#### 1) 鶴沢由美子「保育士の専門性と保護者（主として母親）との関係性」

- ① 保育園の制度的変遷の概略
- ② 専門職研究から見た保育士研究・保育士の現状（就労形態・賃金・資格など）
- ③ 保育の現場のステイクホルダーである保護者（特に母親）が保育士から受けた影響

#### 2) 田口久美子「学童保育（放課後児童クラブ）指導員の専門性」

- ① 学童保育の法制化・政策・運動の流れ
- ② 学童保育指導員の現状と専門性に関する研究のレビュー
- ③ 指導員の専門性を保護者の視点やジェンダー視点から検討する

#### 3) 太田由加里「児童福祉施設（保育園以外）における保育者の専門性」

- ① 多様な児童福祉施設における保育者と担う役割
- ② 各児童福祉施設の職員の現状と専門性に関する研究のレビュー
- ③ 児童福祉施設における保育者の専門性を保護者の視点やジェンダー視点から検討する